

男女共同参画社会に関する世論調査より抜粋 (平成24年10月調査)

内閣府大臣官房政府広報室（平成24年12月17日公表）
(<http://www8.cao.go.jp/survey/h24/h24-danjo/index.html>)

目次

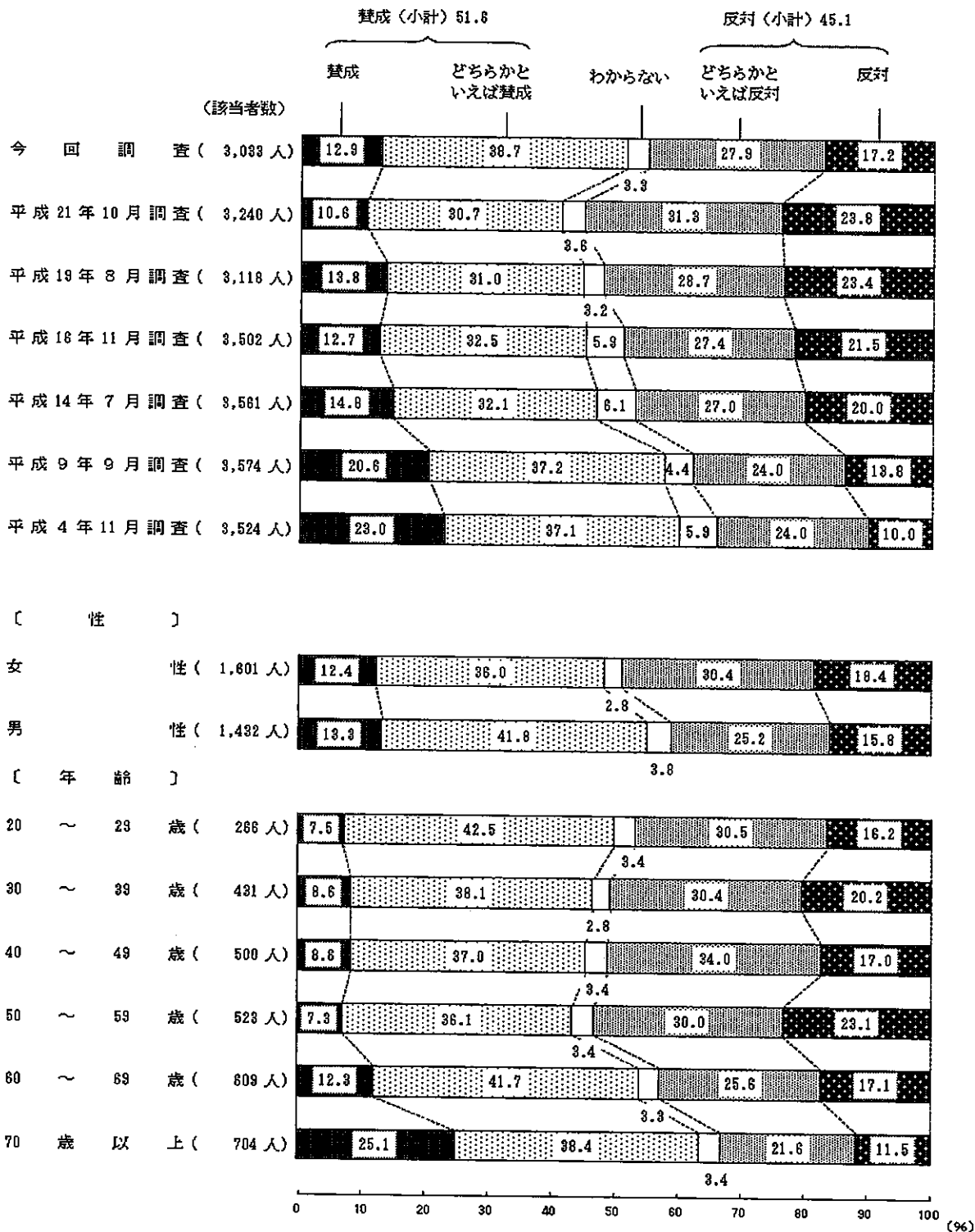
- 1 調査の概要
- 2 調査結果の概要
 1. 男女共同参画社会に関する意識について
 - (1) 各分野の男女の地位の平等感
 - ア 家庭生活における男女の地位の平等感
 - イ 職場における男女の地位の平等感
 - ウ 学校教育の場における男女の地位の平等感
 - エ 政治の場における男女の地位の平等感
 - オ 法律や制度の上での男女の地位の平等感
 - カ 社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の地位の平等感
 - キ 自治会やNPOなどの地域活動の場における男女の地位の平等感
 - (2) 社会全体における男女の地位の平等感
 - (3) 女性が増える方がよいと思う職業や役職
 - (4) 女性が職業をもつことについての考え方
 - (5) 進路や職業を選択する際に、性別を意識したか
 - (6) 男女共同参画に関する用語の周知度
 2. 家庭生活等に関する意識について
 - (1) 家庭生活に関する意識
 - ア 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるか（資料2ページ）
 - (2) 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人生活」の関わり方
 - ア 希望優先度（資料3ページ）
 - イ 現実（現状）
 - (3) 家事等に対する具体的評価
 - ア 育児
 - イ 介護
 - ウ 育児・介護以外の家事
 - エ 自治会などの地域活動
 - (4) 男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加するために必要なこと
(資料4ページ)
 - (5) 仕事と生活の調和が実現した社会
 - ア 就労による経済的自立が可能な社会
 - イ 健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会
 - ウ 多様な働き方・生き方が選択できる社会
 3. メディアにおける性・暴力表現に関する意識について
 - (1) メディアにおける性・暴力表現に対する考え方
 - ア メディアにおける性・暴力表現による問題点
 - (2) メディアにおける性・暴力表現の制限の方法
 4. 男女共同参画社会に関する行政への要望について
 - (1) 男女共同参画社会に関する行政への要望（資料5ページ）
- 3 調査票
- 4 集計表
- 5 標本抽出方法

○ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるか

家庭生活について、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるか聞いたところ、「賛成」とする者の割合が51.6%（「賛成」12.9%+「どちらかといえば賛成」38.7%）、「反対」とする者の割合が45.1%（「どちらかといえば反対」27.9%+「反対」17.2%）となっている。

前回の調査結果と比較して見ると、「賛成」（41.3%→51.6%）とする者の割合が上昇し、「反対」（55.1%→45.1%）とする者の割合が低下している。

図14 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

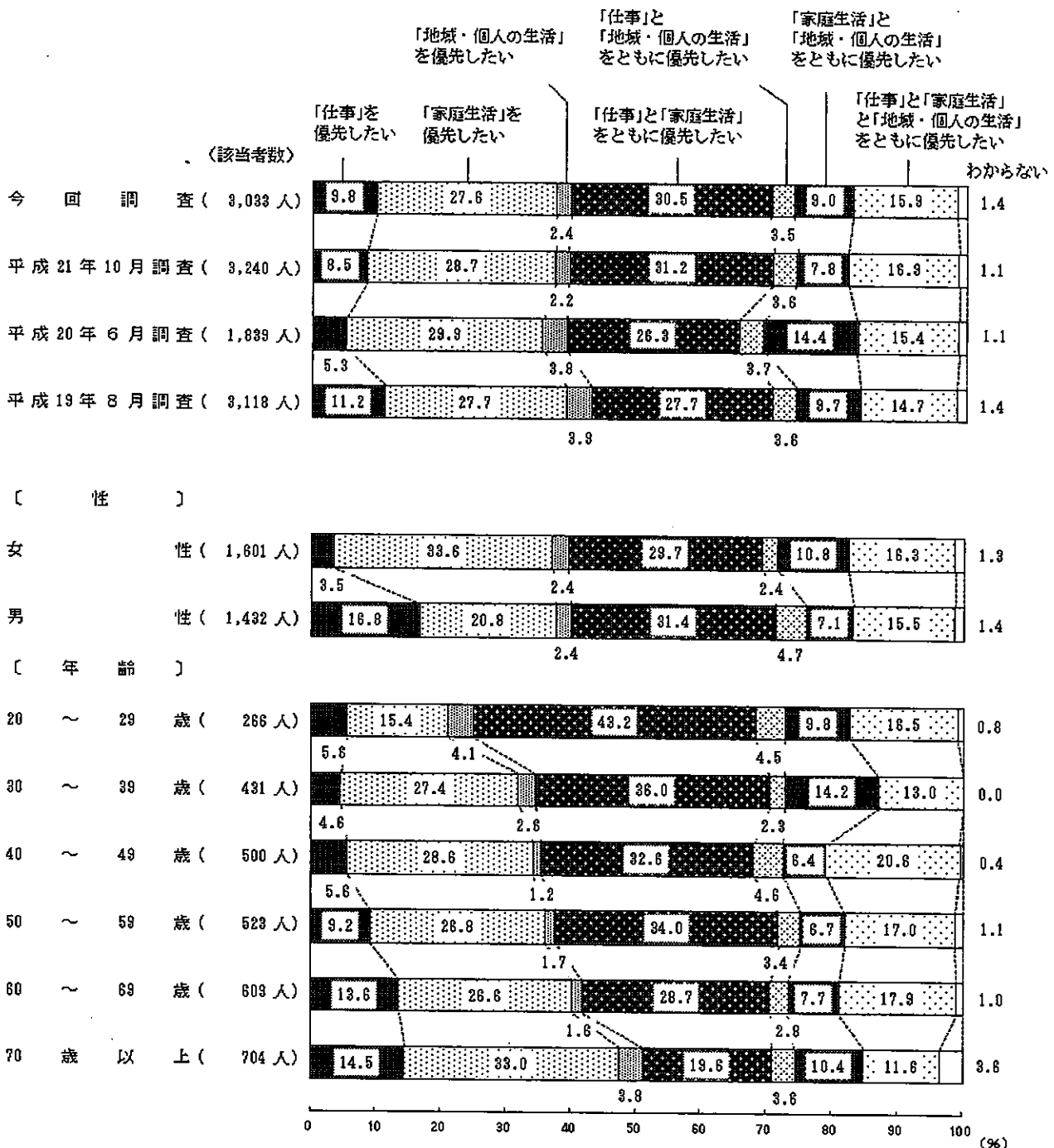


○ 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人生活」の関わり方（希望優先度）

生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度について、希望に最も近いものを聞いたところ、「仕事」を優先したいと答えた者の割合が9.8%、「家庭生活」を優先したいと答えた者の割合が27.6%、「地域・個人の生活」を優先したいと答えた者の割合が2.4%、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したいと答えた者の割合が30.5%、「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したいと答えた者の割合が3.5%、「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したいと答えた者の割合が9.0%、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したいと答えた者の割合が15.9%となっている。

前回の調査結果と比較して見ると、大きな変化は見られない。

図15 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人生活」の関わり方～希望優先度

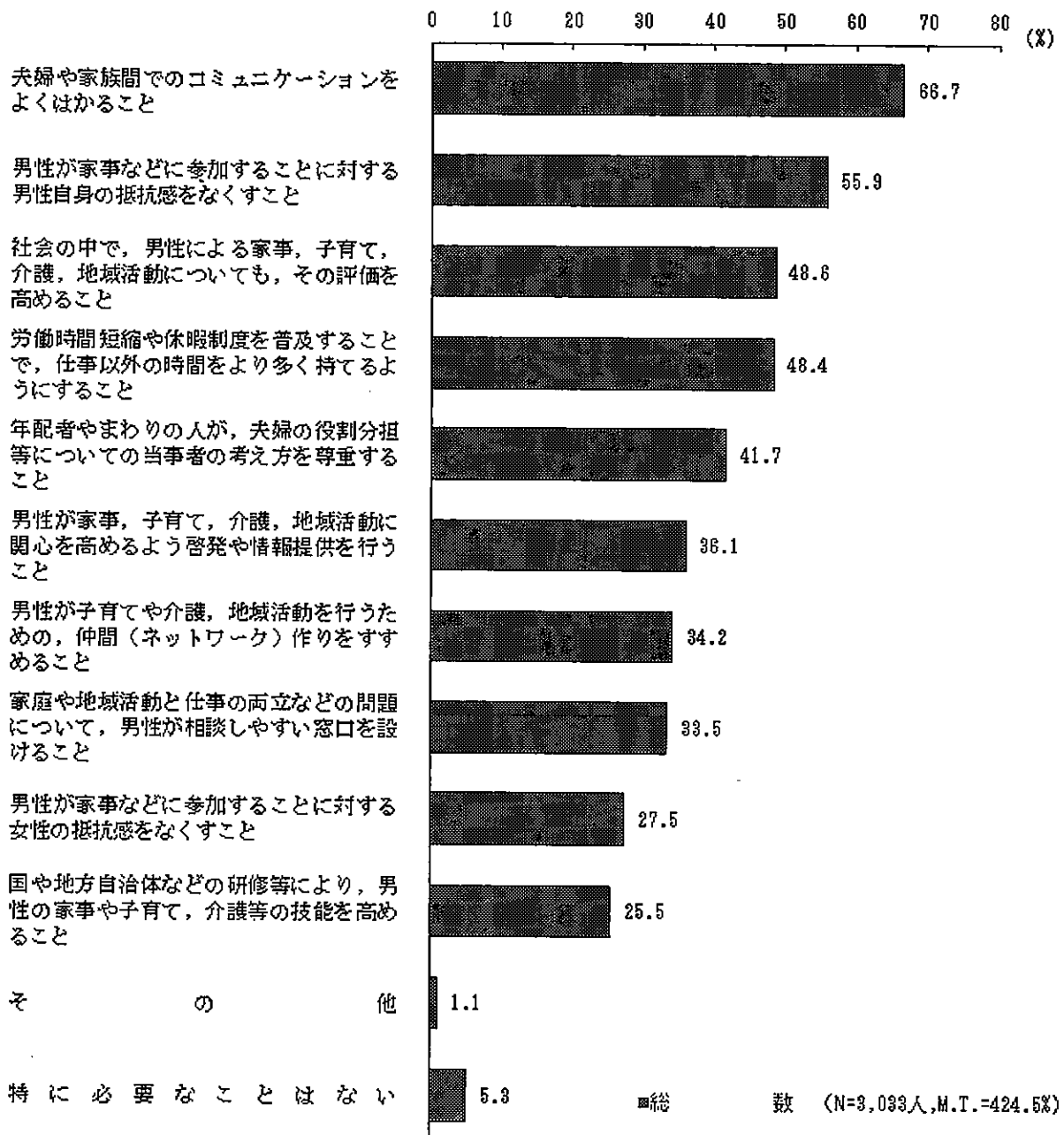


○ 男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加するために必要なこと

今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思うか聞いたところ、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」を挙げた者の割合が66.7%と最も高く、以下、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(55.9%)、「社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること」(48.6%)、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」(48.4%)などの順となっている。(複数回答、上位4項目)

図22 男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加するために必要なこと

(複数回答)



○ 男女共同参画社会に関する行政への要望

「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思うか聞いたところ、「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」を挙げた者の割合が61.6%、「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」を挙げた者の割合が61.0%、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」を挙げた者の割合が59.9%などの順となっている。(複数回答、上位3項目)

前回の調査結果と比較して見ると、「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」(64.3%→61.6%)、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」(62.7%→59.9%)とする者の割合が低下している。

図29 男女共同参画社会に関する行政への要望

